

CNALレポート・ジャパン

Conferencing industry News report, research & Analysis - CNA Report Japan

発行日：毎月 10 日・20 日・月末
創刊日：1999 年 12 月 8 日
編集 / 発行：橋本 啓介

テレビ会議・ウェブ会議・電話会議システム専門

2006 年 WebDialogs プロダクトレポート

編集:editor@cnar.jp 広告:pr@cnar.jp 読者登録:<http://cnar.jp>

Copyright 2006 CNA Report Japan. All rights reserved.

プロダクトレポート



WebDialogs, Inc. プロダクトレポート (ウェブダイアログス)

WebDialogs 社について

WebDialogs 社の本社は、ボストン。1997 年設立。ウェブ会議システムと Skype 向けのウェブ会議機能プラグインソフトを開発している。市場参入は、2002 年。現在は、未公開企業だが、事業は順調に拡大している。事業は、チャンネルパートナーとの協業により展開。現在は、70 のホールセールブランドとともに、会議サービスプロバイダー(CSP)は 40 社、OEM パートナーは 4 社と、常にパートナーの事業の成功にフォーカスした考えを元に、それぞれ協業している。

製品開発フィロソフィー

製品開発にあたっては、単にウェブ会議システムのソフトウェアを開発するという考えではなく、企業の“コミュニケーション・インフラストラクチャ”を開発し提供していくことを基本フィロソフィーとして持っている。

そのままユーザーに提供するのではなく、ユーザーのニーズにあった機能の適切な組み合わせを行うとともに、操作が簡単であるということを重視しながら、見た目の機能や操作性だけでなく、その背後で動作するシステムのコアの部分において、つまり、他の技術とのインテグレーションや、サービスカスタマイズ、そしてエクステンシブ・ブランディングに注力して開発を行っている。

製品提供方法については、ソフトウェアライセンス方式とASPホスティングサービス方式、そして、パートナーやユーザーのニーズに柔軟に対応した価格体系をベースに製品を提供している。

提供している製品

現在、WebDialogs 社で提供している製品は3種類。



(1) 「Unyte (ユナイ ト)」。Unyte は、インスタントメッセージング、チャット、プレゼンス向けの

アプリケーションおよびデスクトップ共有機能を提供するソフトウェア。Skype 用プラグイン (Skype Certified 済み) と同時に、スタンドアロンソフトとしても機能する。「Unyte」と「Unyte Plus」がある。Unyte Plus は有料サービス。インテグレーション用の SDK も提供している。



(2) 「Meeting Central(ミーティングセントラル)」。企業向けの

音声及びウェブ会議システム。「Executive (エグゼクティブ)」、「Enterprise (エンタープライズ)」、「Express (エクスプレス)」の3種類がある。

(3) 「WebInterpoint(ウェブインターポイント)」。CSP 及び OEM パートナー向けのウェブ会議システム。WIPOne(WebInterpoint One)と WIPPro を提供。インテグレーション用の API(アプリケーション・プログラム・インターフェイス)と SDK を提供している。

これらの製品の特徴は、簡単にウェブ会議機能を開始できる、インスタントメッセージングからウェブ会議セッションへのシームレスな移行が可能などある。

Unyte について

Unyte は、インスタントメッセージング、VoIP (IP電話)、チャットなどのツールとシームレスにインテグレートでき、PCにあるドキュメント、プレゼンテーション、アプリケーション共有と、デスクトップのリモートコントロールの機能をウェブブラウザと連動して提供している。インスタントメッセージング、VoIP (IP電話)、チャットから共有セッションへの移行をシームレスに行うことが可能。Skype ユーザーだけでなく、Skype ユーザーでなくてもこの Unyte は利用できるソフトウェア。

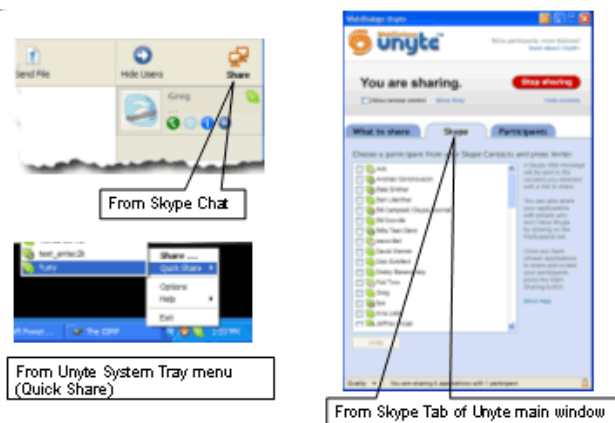
この Unyte は、1対1でのドキュメントなどの共有は無料で使えるが、それ以上の機能は有料サービスの「Unyte Plus (ユナイトプラス)」として提供している。Unyte Plus は、1対4までの共有、アノテーション、セッションレコーディング、リモートアクセスなどの機能も使えるようになる。SDK やカスタマイズも可能で、アフィリエイトプログラムも提供している。

想定している Unyte の利用方法は、共有したドキュメントに対して協同作業、セールスプレゼン、プロジェクトミーティングなどのビジネス的な使用方法、子供の宿題を一緒に行ったり、次の休みの計画を立てたりといったパーソナルな使用方法もできる。また、リモートコントロールでは、他の国にいる開発担当者のデバッグをリモートで協力する、同僚やクライアントなどの PC の問題を解決する、リモートからノート PC で自分のデスクトップ PC にアクセスするなどの使い方もある。

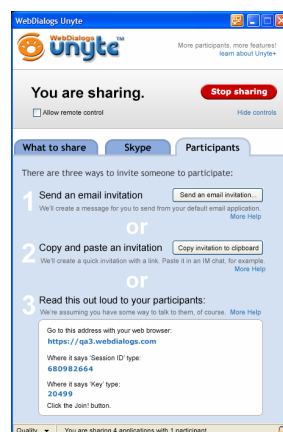
システムの要件は、ホスト側は、Windows 2000/XP。ビューアー側 (共有資料を見る側) は、Windows や MacOS などの Internet Explorer、Firefox、Safari のブラウザから Unyte の共有資料を見ることが可能。



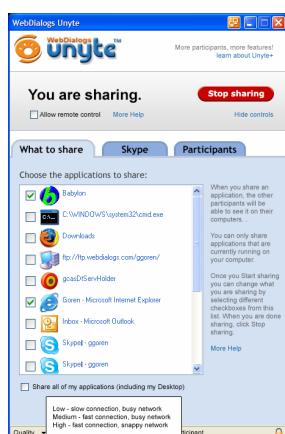
チャットから Unyte を開始。チャットに Unyte 用の URL が表示されるため、それをクリックすると Unyte のセッションが始まる。



Unyte は、Skype のプラグインとして使うと、Skype のメニュー画面に Share のアイコンが表示されるとともに、Windows のシステムトレイメニューに常駐で表示される。



また、Skype とは別に Unyte を単独で使う場合は、Unyte にログインし、左側の画面が表示される。そして、Unyte 共有用の画面のための URL を電子メールで参加者に通知、その URL をワンクリックしログオンすれば、その Unyte の共有画面が表示され、協同作業のセッションが始まる。



セッションは可能。

左の画面では、セッションで共有するアプリケーションを選択する。PCにあるアプリケーションあるいは、デスクトップ画面を共有する、リモートコントロール操作の選択はこの画面で行う。インターネットアクセス、PC、そしてブラウザがあれば、SkypeがなくてもUnyteの共有

Meeting Central について

Meeting Central は、ユーザー向けのブラウザベースのウェブ会議 ASP サービス。ミーティングセッションの予約が不要。北米での提供は、音声部分については、フリーダイヤルの音声会議システムとセットで提供されている。コンファレンスIDを使いサービスを利用する。

Meeting Central は、WebInterpoint ウェブ会議システムをサービスプラットフォームとして提供されている。

会議セッションの参加は、PC、ブラウザ、インターネット接続があれば可能で、ホスト(会議主催者)や会議参加者としてウェブ会議を主催したり、会議に参加したりということが可能。

ブラウザベースのウェブ会議のため、使用の仕方を覚えるためのトレーニングはほとんどない。誰でも簡単に使いこなせるユーザーインターフェイスを持つ。

機能は、Microsoft PowerPoint などのドキュメント共有、アプリケーション共有(一つのアプリケーションあるいは複数のアプリケーション)、ミーティング管理ツール、音声とデータ共有部分の録音機能などが提供されている。

ミーティング管理ツールは、会議セッション中のポインタ、挙手、投票、録音、ナビゲーション、オーディオキャストなどのための機能。

Meeting Central は、利用形態によって、3種類のサービスを提供している。

(1)「WebDialogs Executive」。オペレータ事前予約の不要なサービス。競合他社の 1/3 の価格でサービスが北米では提供されている。

(2)「WebDialogs Enterprise」。従量課金、定額制などニーズに合わせた課金方式を選択可能。

(3)「WebDialogs Express」。音声部分は、フリーダイヤルで利用できるセルフサービスのウェブ会議サービス。

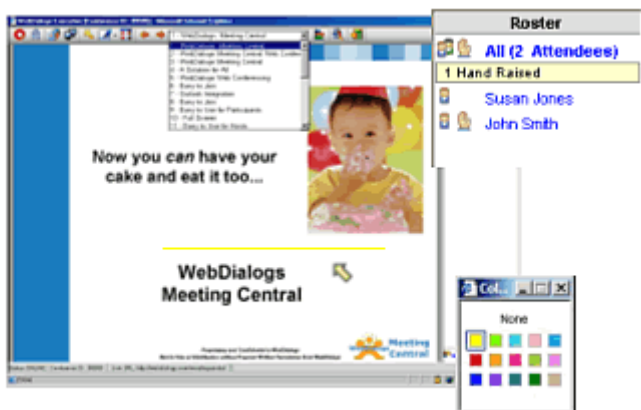
また、サービス利用にあたってのテクニカルサポート窓口は、フリーダイヤルで提供され安心してユーザーがウェブ会議セッションを行えるサービス体制を整えている。

次に、Meeting Central のログイン画面やセッション画面などについて説明する。

まずは、Meeting Central は、ウェブブラウザベースのインターフェイスであるため、下図のページからまず会議セッションにログインする。



まずは、ウェブ会議セッションへのログイン画面から、コンファレンス ID 番号、名前、会社名、メールアドレスなどを入力して会議セッションに入室する。その際には、会議のホスト(モデレータ)も、PIN番号(暗証番号)を入力してセキュリティを保つ。そして、「Log-in」のボタンを押して、会議セッションに入室できる。



上図がセッション画面(ホスト側)で、プルダウンがナビゲーション(共有ファイルのページめくりなどを行える)、Roaster(上図右上)のところに見えるのが参加者を表示、右下は、アノテーション(蛍光ペンの色選択)、画面内の黄色の矢印はポインタを示す。

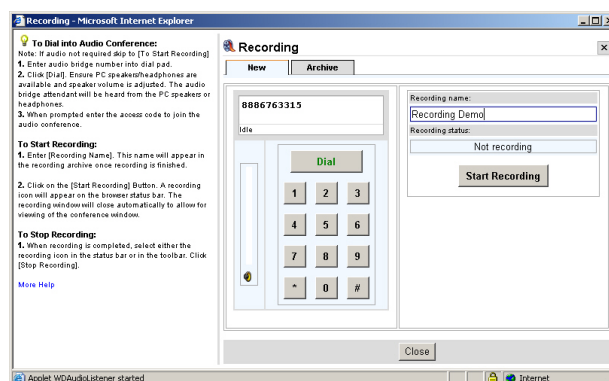
Roaster の画面内に表示される参加者個別あるいは全員を選択して、サブメニューを表示させ、チャット、ファイル送信、プレゼンター交代、リモートコントロール、切断などの機能が使える。

投票については、参加者に対して質問をして、それに対してリアルタイムに結果を表示、会議のホストは同時にメールでも集計結果を得る。

会議セッションが終わると、会議セッション内容について簡単にまとめたサマリーをメールで配信も可能。

共有するドキュメントファイルなどは、「Publish To Share」の画面で、会議セッションの前、あるいは会議セッション中にファイルをアップロードする。アップロードができるファイル数は、10ファイルまで。PowerPoint、Word、Excel 各種のファイルをアップロードできる。

共有セッションのレコーディングは、下図のレコーディングの画面で操作する。ホスト画面の上部にあるホストツールバーにある、レコーディングのアイコンをクリックするとレコーディングが開始する。



音声部分は電話会議で行うため、上図画面にて、まず音声会議サービスヘダイヤリングして電話会議に接続する。そうすると、レコーディングは、共有画面だけでなく、電話会議の音声についても、同期してレコーディングできる。

WebInterpoint について

WebInterpoint は、事前の予約が不要なタイプで、アドホック的にその場で会議セッションを行えることを想定して開発したウェブ会議システム。

誰でもが使えるシンプルで使いやすいユーザーインターフェイスに、導入費用はリーズナブルな価格帯で提供している。1対1のウェブ会議セッションから、1対100強までの大規模人数のウェブ会議セッションにフィット。プロビジョニング、パスコード機能、ブランディング、課金機能などを統合している。

Meeting Central のベース機能を提供している。

【主な機能一覧】

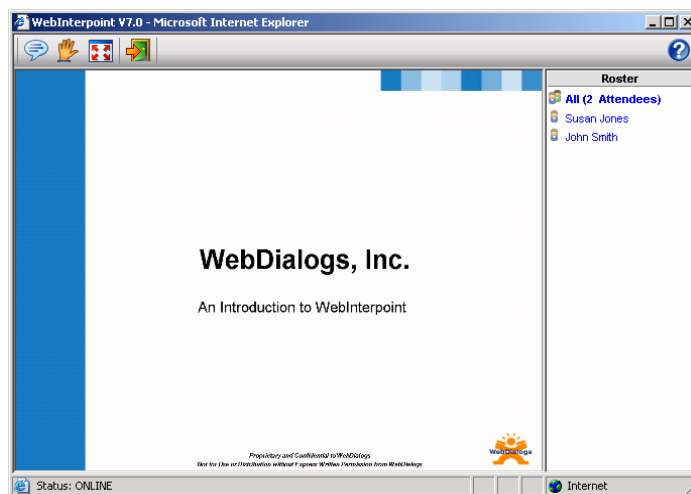
- ーウェブベースのアプリケーションデスクトップショートカット
- ー多人数発表者/ バトンパス機能
- ーアプリケーション/デスクトップ
- ー共有機能
- ーQ&A モデレーター
- ーローカライズサポート(日本語対応済み)
- ーチャット(参加者&ホスト)
- ー自動レコーディング
- ーウェブベース・アドミニストレーション & API
- ーEmail サマリーレポート&ビリングメモフィールド

- 参加者ダウンロード禁止機能
- 音声コールコントロール機能
- インテグレーション
- 会議室ロック機能
- スマートスクローリング
- リモートコントロール
- Outlook インテグレーション
- 挙手機能、マーカーツール及び
- ポインタ機能
- ファイル転送機能
- SSL 暗号化
- 投票機能
- カスタムツールバー
- 音声キャスティング

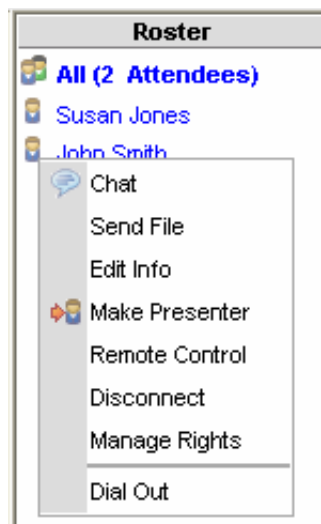
WebInterpoint は、「WIPOne」と「WIPPro」の2種類を提供するところにより、パートナー企業が WebInterpoint を使ったウェブ会議システムを構築する場合のさまざまなニーズに対応することが可能。

WIPOne は、使用するための事前のトレーニングはほとんど不要な基本機能を搭載したシステム。プレゼンテーション表示やナビゲーションの基本機能にしばった。低コスト導入が可能なバージョン。

WIPPro は、基本機能と投票機能に加え、より高機能化したバージョンのシステム。アノテーション、チャット、アプリケーション/デスクトップ共有、アウトルックプラグイン、リモートコントロール、自動レコーディングの機能を搭載。



参加者側の画面。ホスト側は、前ページのホスト画面と同じ。



Roaster r (右側参加者表示)は、参加者が会議室セッションに入ってくると表示され、退室すると Roaster 画面から消える。参加者情報は、名前、メールアドレス、会社名などを表示可能。参加者情報は、参加者データベースに格納し、使用に応じて課金システムにて課金処理が行える。



上図は、マイクロソフト Outlook での会議参加者への会議セッション開催通知メール。メール本文に会議セッションの番

号とリンクが表示され、そのリンクをクリックすると、右側の画面が表示される。その画面には、コンファレンスID番号と電話会議用の電話番号が表示されており、「OK」ボタンで会議セッションに入れる。

WebInterpoint Brand Manager	
Property	Value
Provider Code:	WDG
*Brand Name:	WebInterpoint
*Product Name:	WebInterpoint v6.3
Company Name:	WebDialogs
Host Alias:	Host
Conference ID:	Conference ID
Subscriber ID:	Subscriber ID
Alias General Description:	(Editing Memos optional)
Alias Field 1 Label:	Memo 1
Alias Field 2 Label:	Memo 2
Info Page URL:	
*Join Page URL:	http://www.webinterpoint.com/demo/default.asp
*Host Join Page URL:	http://www.webinterpoint.com/demo/default.asp
*Host Published URL:	[/brands/WDG/WebInterpoint/otpublished.html
Mail URL:	[/brands/WDG/WebInterpoint/mail.html
Error URL:	
Administrator Help URL:	http://www.webinterpoint.com/documentation/admin/brand-WebInterpoint
Administrator Support E-Mail:	support@webdialogs.com
Administrator Support URL:	
Copyright text (HTML):	WebDialogs ®
Download / Upgrade URL:	[/brands/WDG/WebInterpoint/WebInterpoint_install.exe
Event URL:	WebInterpoint Seminars
Event URL:	http://www.webinterpoint.com/seminars
Home Page URL:	http://www.webdialogs.com
Logo URL:	[/brands/WDG/WebInterpoint/logo.gif
Product Page URL:	http://www.webinterpoint.com/beta
Registration URL:	http://www.webinterpoint.com/beta
Session Report URL:	
E-Mail Invitation URL:	http://test.webdialogs.com/brands/WDG/WebInterpoint/emailinvite.x
Admin Stylesheet:	[/brands/WDG/WebInterpoint/default.css
WebInterpoint Stylesheet URL:	WebInterpoint

WebInterpoint をベースに、WebDialogs 社のパートナー企業がそれぞれカスタマイズしてウェブ会議を提供する場合の「Brand manager module」(上図)がある。

この機能を使用すれば、機能毎に必要な機能、不必要な機能とスイッチのごとくOnとOffができる。また、ウェブ会議のユーザーインターフェイスのルックアンドフィールの部分についても、パートナー独自のインターフェイスや、カスタマイズが可能。プロビジョニングと課金システムとのシステム連結の部分でもシームレスな統合が可能。

さらに、WebInterpoint は、API(アプリケーション・プログラミング・インターフェイス)を提供、システムの設計やサーバーの設置まで実施。

設置後のサポートとしては、トレーニング、オンライン・テクニカル/マーケティング・ドキュメンテーション、テクニカル・サポート・トレーニング、メンテナンスシステムアップグレード、リモートでパートナー企業がネットワークをモニタリング、WebDialogs 社が、同じリモートでウェブ会議システムのソフトウェアをモニタリングするなどのサポート、ファイアウォールの対処、アドミニストレーター機能で、24時間365日

のシステム監視など設置後のシステムが万全に運用されているためのバックアップを十分な形でサポートする。

(終わり)

連絡先

WebDialogs, Inc. (米マサチューセッツ州)
Bala Sridhar
Executive Vice President of Business Development,
Founder

(創業者兼事業開発担当エグゼクティブ・バイス・プレジデント)

Email: sri@webdialogs.com

北米 TEL. 1.877.932.3547

WWW: <http://www.webdialogs.com>

WebDialogs 企業説明資料

<http://cnar.jp/WebDialogs-j.pdf>

Unyte 説明資料

<http://cnar.jp/unityte.pdf>

作成・編集：編集長 橋本啓介